東北６県と整備局が創る
河川・ダム・砂防・海岸事業の新たな連携

「個性の大地」

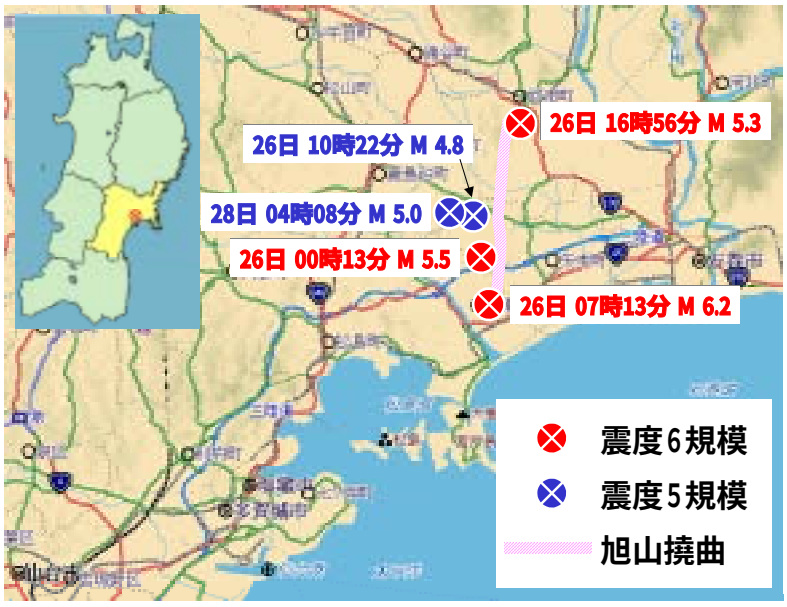
第１０号（平成１５年１０月）
東北地方整備局河川部
地域河川課　発行

ー宮城県北部連続地震ー

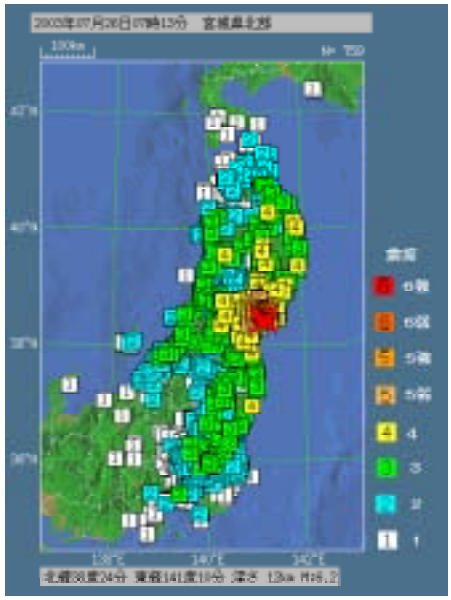
宮城県北部に大きな被害

平成１５年７月２６日（土）に発生した宮城県北部地震は、震度５以上が連続する記録的な地震となり、宮城県矢本町、鳴瀬町、南郷町、河南町等の町で約１３，４００棟の住宅被害を受けました。

また、鳴瀬川、北上川の直轄河川や出来川、定川等の県管理河川の河川施設やがけ崩れ等、地すべり、海岸保全施設などにも甚大な被害をもたらしました。



地震概要（地震の主な震源位置）



震度分布（震度６強）
〔平成１５年７月２６日７時１３分頃〕



住宅の被害
矢本町上沢目



直轄河川の被害
鳴瀬川右岸（鹿島台木間塚地先）

◇宮城県北部連続地震による公共土木施設被害について

宮城県土木部河川課

■　地震の概要

平成 15 年 7 月 26 日(土)、震源地(深さ約 12km)をほぼ同じとした 3 回(前震、本震、余震)の連続した強い地震が局所的に発生しました。この地震による津波はありませんでした。

発生日時	規模 (ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ)	各地の主な震度			
		6 強	6 弱	5 強	5 弱
① 0時13分 (前震)	5.5		鳴瀬町 矢本町	鹿島台町 南郷町	河南町
② 7時13分 (本震)	6.2	南郷町、鳴瀬町 矢本町	鹿島台町 河南町		
③16時56分 (余震)	5.3		河南町	南郷町	

■　被害の状況（平成１５年　９月１９日 現在）

国土交通省所管公共土木施設についての被害状況は、次表のとおりです。

(単位 金額:千円)

	県　工　事		市町村工事		合　　計	
	箇所数	金　　額	箇所数	金　　額	箇所数	金　　額
河　　川	23	762,900	2	9,000	25	771,900
海岸(港湾分)	1	25,000	0	0	1	25,000
海岸(その他)	1	5,500	0	0	1	5,500
砂 防 設 備	2	484,000	0	0	2	484,000
急 傾 斜 地	2	35,200	0	0	2	35,200
道　　路	70	2,258,500	188	3,872,200	258	6,130,700
橋　　梁	3	2,925,000	8	258,000	11	3,183,000
港　　湾	2	5,000	0	0	2	5,000
下　水　道	8	170,900	18	1,487,300	26	1,658,200
公　　園	0	0	5	174,000	5	174,000
合　計	112	6,672,000	221	5,800,500	333	12,472,500

※ 箇所数及び金額は、今後変わることがあります。

その他に、がけ崩れや地すべりの対策としては、災害関連事業で対応します。

・災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業　　10 カ所　　1,006,000 千円
・災害関連緊急地すべり対策事業　　1 カ所　　79,200 千円



がけ崩れ　松山町丸山



一級河川　出来川　南郷町和多田沼
※ｼｰﾄ張りによる応急工事を実施している

■　地震への対応(大地震を経験して)

・　余震を含む連続した地震により、何度も点検を繰り返すこととなり、事務所職員は休む暇もなくパトロールを行うこととなりました。さらに、各関係機関への状況報告に苦慮しました。
　また、出水期ということもあり迅速な応急復旧が最も大切であることを痛感しました。
・　局所的な強い地震により、被害の多い町では、被災状況把握に時間がかかることが予想されるため、県では職員を町や事務所に派遣し支援しました。
・　今回、津波発生はなかったが、津波対策(ハード、ソフト)が不可欠であり、その対策として宮城県緊急経済産業再生戦略プランにも一部盛り込みました。

平成１５年度計画連携等推進措置による予算追加配分

９月２６日付けで、社会資本整備計画の策定を踏まえ、重点目標を効率的に達成するための連携事業のうち、特に重点的に実施すべき、年度内に進捗の加速が可能なものを対象として、予算の追加配分がなされました。

東北地方整備局河川関係では、一般公共予算で１，０３２百万円、国土総合開発事業費で３，０１２百万円の配分となっています。

東北地方整備局関連全体の追加配分事業費

（単位：百万円）

	H 15 年度 当初予算	計画連携等推進等措置			合　計
		一般公共	国土総合開発 事業調整費	計	
都市・住宅関係	280,269	100		100	280,369
河川関係	209,409	1,032	3,012	4,044	213,453
直轄河川関係	109,966	922	3,012	3,934	113,900
補助河川関係	**99,443**	**110**		**110**	**99,553**
道路関係	380,241	2,650	720	3,370	383,611
港湾空港関係	34,651				34,651
営繕関係	1,978				1,978
	906,548	3,782	3,732	7,514	914,062

補助関係では、次の２事業に配分されました。

【砂押川（すなおしがわ）河川改修事業】　８０百万円
宮城県多賀城市

二級河川砂押川において、公共下水道事業（多賀城市）と連携を図り河川改修事業を実施し市街地内の内水被害の解消を図ため緊急特定区間として進めています。



【阿武隈川（あぶくまがわ）火山砂防事業】３０百万円
福島県白河郡西郷村

阿武隈川において、緊急地方道整備事業（西郷村）と連携し、渓流保全工を整備し、土砂災害の防止を図り、安全安心な地域開発を支援します。



釜石市内土砂災害対策
アクションプログラム公表

岩手県　砂防課

平成１４年７月１１日未明に釜石市を襲った台風６号は、これまでにない強い雨をもたらし、市内の至るところで家屋の床上・床下浸水や、沢から流出した土砂による家屋の全壊・半壊等の被害を被り、特にも松原地区では、土石流が住家を直撃し２名の尊い命が奪われました。

【松原地区の被災状況】



今後も予想される被害を少しでも軽減するよう、そして、二度と人命が失なわれないよう、東北地方整備局をオブザーバーとし、岩手県・釜石市の関係者を会員とした「釜石市内土砂災害対策検討会」を発足し、計３回会議を開催し、災害時の避難勧告の判断・避難路の確保・情報伝達や共有化、さらに、地域住民との協働が不可欠であることから、自主防災組織（17 団体）や婦人消防クラブ（５団体）との意見交換会を実施し、７つの施策を推進する「釜石市内土砂災害対策アクションプログラム」を策定し、８月２６日付けで同プログラムを公表しました。

その一環として、９月９日には岩手大学井良沢助教授の基調講演をはじめ、アクションプログラムの経過報告及び地域の方々とのパネルディスカッションによる「釜石市内土砂災害フォーラム」を開催しました。



フォーラムには、約２８０人が参加し、それぞれの役割分担と自主防衛の必要性が改めて確認されました。

「津波に関する地域の安全・安心促進基本計画（仮称）」に係る意見交換会

去る１０月１０日、「津波に関する地域の安全・安心促進基本計画」策定のモデル地域に選定された岩手県田老町において、本省海岸室、東北地方整備局、岩手県、田老町の関係者による策定に向けて意見交換会が以下のとおり行われました。

○津波対策に対する現状把握
- 防護施設の状況
- 各種計画への反映状況
- 計画に必要なデータ等(ハザードマップ、浸水シミュレーション等)
- 津波情報の伝達系統及び手段の現状

○課題等の洗い出し
- 当面急ぐべき対策（主にソフト対策）
- 現行の各種計画に不足している項目
- 検討にあたってネックとなっている事項

○今後の取り組み方針
- 計画に盛り込むべき基本的な項目
- 検討スケジュール



意見交換会状況



岩手県田老町の海岸風景

当モデル地域の静岡県相良町、三重県阿児町、和歌山県新宮市、高知県土佐市も同様の計画が策定される予定です。

ー補 助 事 業 担 当 者 会 議 開 催ー

直轄・補助事業の意見交換が行われる

河川とダム管理の担当者会議が下記のとおり開催されました。

【河川関係補助事業担当者会議】

去る９月８～９日仙台市内において、東北六県の補助河川担当者等が一同に集まり、会議が開催されました。この会議では、整備局と県等との情報交換と連携強化を図るため、担当者レベルでは、初めての開催となりました。また、東北大学工学研究科　今村教授による『宮城県沖地震・津波と地域防災』と題して特別講演を頂き、地震対策の在り方について勉強会が行われ、活発な質問が教授に寄せられていました。



会　議　風　景



今村教授による講演状況

【補助ダム管理実務担当者会議】

去る７月２４～２５日仙台市内において、東北六県の補助ダム管理担当者等が一同に集まり、会議が開催されました。会議では、本省河川環境課流水管理室谷田補佐から「全国のダム管理の現状と課題」について、問題提起を頂き、「直轄補助ダム管理の取り組み事例報告」が行われた後、各県が抱える課題に対して意見交換が行われました。



会　議　風　景



取り組み事例報告状況

直轄と補助との情報交換等を通じた技術連携のあゆみ

平成 15 年 10 月 31 日現在

年　月　日	名　　称	主務課	内　　容
H15 年 4 月 15 日	管内補助事業担当課長会議	地域河川課	補助事業の進め方
H15 年 5 月	補助砂防担当者会議 （山形ブロック）	新庄工事 山形県	連携方策
H15 年 5 月	秋田県川づくり検討会	秋田県	河川整備の進め方
H15 年 6 月	山形県川づくり検討会	山形県	河川整備の進め方
H15 年 7 月 24 ～ 25 日	補助ダム管理実務担当者会議	地域河川課	直轄・補助ダムの管理の在り方
H15 年 8 月 7 日	多自然型川づくり検討会	河川工事課 地域河川課	多自然型川づくり工法の検討
H15 年 8 月 21 日	岩手県釜石土砂対策検討会	地域河川課 岩手県	災害防止対策検討
H15 年 9 月 8 ～ 9 日	補助河川事業担当者会議	地域河川課	直轄・補助河川事業意見交換会
H15 年 10 月 8 日	砂鉄川堰改築検討会	地域河川課 岩手県	計画。設計、施工、維持管理方策検討
H15 年 10 月 14 日	管内河川課長会議	地域河川課 河川管理課	河川の適切な維持管理
H15 年 10 月 15 日	多自然型川づくり発表会	河川工事課 地域河川課	多自然型川づくり事例発表、意見交換会
H15 年 10 月 27 日	河道の維持管理勉強会	河川管理課	河道の管理

会計検査を終えて

これまで秋田県、宮城県、山形県で会計検査が行われました。担当者の皆様ご苦労様でした。

大小の指摘事項がありましたが単純ミスや設計と現地施工の不一致、施工不良等これまでと同様の傾向が見られました。さらなるチェック体制の充実が望まれます。

今後とも整備局として、技術的な助言や再発防止のための情報提供を行って行きたいと思いますので、よろしくお願い致します。

編集後記

平成１５年度第２号目の発刊となりました。今回は、宮城県北部連続地震の状況をお伝えしました。災害関連も順調に採択され、また、土木施設災も順次採択されています。災害で被害を被った方々が一日も早く通常の生活が出来るように直轄・補助担当者においても体に気を付けてがんばっていただきたいと思います。さて、「個性の大地」を通じて地域の話題、新たな取り組み、技術紹介等についても是非御一報ください。事務局Emil：abe-t82ag@thr.mlit.go.jpまで。

本誌に関して御意見、問い合わせがございましたら　地域河川課　までお願いします。

発行　　国土交通省 東北地方整備局 河川部 地域河川課

〒980-8602　仙台市青葉区二日町９番１５号

TEL022-225-2171(大代表)　FAX022-262-6690

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ　http://www.thr.mlit.go.jp/kasen/